

韓国魚類養殖業における問題点\*<sup>1</sup>朴 九 秉,<sup>\*2</sup> 八 木 庸 夫Problems in the Fish Mariculture  
in Korea

Koo-Byong PARK and Tsuneo YAGI

Since around the mid-1960s, aquaculture in Korea has been developed drastically. However, the main aquaculture has been shellfish and seaweeds, and the production of fish farming had been negligible.

It was not until the beginning of the 1980s that the fish farming in Korea began developing. Since then, most of the consumers preferred to the high-valued raw fish according to the rapid increase of income. The change of the patterns of fish consumption motivated a rapid development of the fish mariculture.

Now, the fish mariculture is popular with a large market demand. The main fishes produced by the fish mariculture are red sea bream, rock fish, yellowtail, Japanese flounder, and sea bass. Among them, the yellowtail is a major part of the fish mariculture.

Recently, the fish mariculture has confronted with some difficulties such as a sudden rise of wages and the cost of feeds, and the sharp drop in the price of the fish occurred by the imported live fish. Especially, the red sea bream imported from Japan weakened greatly the Korean fish mariculture. As a conclusion, the outlook of Korean fish mariculture is not so bright.

**Key words:** 活魚需要 demand for live fish; 賃金上昇 rise of wages; 餌料価格上昇 rise of feeds price; 輸入活魚増加 increase of imported live fish.

韓国の水産業が、長期的な停滞から抜け出しはじめた1960年代中期以後における韓国水産養殖業の発達は、実に驚異的なものであった。1960年代初頭に10万トンにも達しなかった養殖生産量が、最近では100万トンに迫っている。韓国水産業の高度成長において、その主体的推進力となったのは水産養殖業と遠洋漁業であった。この両者は、韓国水産業発展の牽引車の役割を果たした。

しかし韓国の水産養殖業が飛躍的に成長できたのは、貝類や藻類などの浅海養殖業が急速に発達したためであって、魚類養殖業の発達によるものではなかった。近年に到るまで魚類養殖業が水産養殖業に

占める比重は無視してもかまわない程度に過ぎなかった。魚類養殖といっても淡水養殖に限られており、その頃は養殖魚類もコイ、ドジョウ、ウナギなどの伝統的な養殖魚種に限られていた。

海面での魚類養殖業が盛んになりはじめたのは1980年代に入ってからのものである。国民所得水準の向上に伴う消費構造の高度化によって、刺身用活魚の需要は引き続き増加してきたが、海面漁業によるその供給が次第に減少してきたため、需要と供給のアンバランスが生じ、深刻化してきた。その解決策として魚類養殖に関心が払われるようになり、日本を先駆者とする海面における魚類養殖技術の発展によ

\*<sup>1</sup> 日韓両国における養殖漁業の比較研究-5 (A Comparative Study on Japanese and Korean Aquaculture-5).

\*<sup>2</sup> 国立釜山水産大学校 (National Fisheries University of Pusan, Pusan, Korea).

って、その応用・導入も可能になり、本格的に魚類養殖業に着手するようになった。1983年以後、政府は魚類養殖業の育成策を積極的にとり、魚類養殖業に対する財政的支援、養殖技術の改善や養殖魚種の多様化のための試験調査事業の推進などを推進し、高級魚類養殖業の発達を図ってきた。

現在養殖されている魚類のうちで主なものは、ブリ、ヒラメ、マダイ、スズキ、メバル類などであるが、そのうち最も多いのはブリである。

ブリ養殖業は、1970年代以後、慶尚南道の忠武を中心とする地方で、天然稚魚を利用して始められ、今日では最も重要な魚類養殖業となった。最近ではヒラメの陸上水槽式養殖業も脚光を浴びており、一大ブームが起こっている。また淡水魚類養殖業の一種目に属するイスラエルコイの養殖業も1980年代からひろく普及し、イスラエルコイは全国的に人気のある刺身用魚類となった。刺身屋が小規模な水槽を設けてイスラエルコイを蓄養しているのがよく見られる。その魚名もヘンオ、すなわち「香魚」と改名されて顧客に親しまれている。

ところが、これらの魚類養殖が正常的発達の軌道に乗る直前に到って一つの大きな難問に直面した。すなわち餌料価格の暴騰、人件費の上昇、輸入活魚の増加による養殖魚の価格の暴落などのいわば三重苦である。

餌料問題をみると、韓国では日本に比べて生餌料(魚類)に対する依存度が高いため、魚類養殖の過熱は餌料用のアジ、サバ、イワシ等の需要を急増させ、その価格の暴騰を招いている。増肉率の高い良質の配合餌料が開発されない限り餌料難の問題を解決することは困難である。

人件費の上昇は、漁業を含むあらゆる生産部門で共通的にみられる一般的な現象である。第6共和国の発足(1988、盧大統領)以後、民主化を望む声が高くなるにつれて労働者の地位が目立って向上し、賃金水準が天井知らずに高くなって来ている。さらにいわゆる3D現象(dirty, difficult, dangerousな職業を嫌う)まで起こって、労働力の不足が深刻な問題となりつつある。この問題の解決は省力化技術の開発をまつよりほかはないのであろうが、それが短期間に解決されるとは考えられない。

刺身用活魚の輸入量の爆発的な増加の問題は、より深刻な問題である。国際的な輸入自由化の余波によって、魚類の輸入にも自由化の道が開かれ、現在、韓国は中国や日本から各種の魚類を輸入している。

活魚は日本から輸入している。今迄韓国は活魚輸出国であって、その相手国は日本であったが、現在は事態が逆転して韓国が日本産活魚の輸入国になりつつあるのである。

いま魚類養殖業に致命的な打撃を与えているには、日本からの養殖マダイの輸入である。日本では、マダイ養殖に適当な水温の高い地方で高度の養殖技術を利用し、またスケールメリットを生かしてマダイを養殖しているが、韓国では相対的におくれた技術と小規模経営によってマダイ養殖業を行なっているだけでなく、マダイの越冬にもハンディキャップがあるので、少なくともマダイ養殖業に関する限り、韓国は日本の競争相手にはなりえない状態である。日本からのマダイ輸入が増加するにつれて、韓国産養殖マダイの価格は急速に下落している。最近の例をあげると、国内養殖マダイの価値が1988年にキロ当たり17,000ウォンであったのが、昨1992年末には7,500ウォンに暴落した。マダイの輸入は、1988年に27トンを忠武に輸入したのがその始まりであったが、その後、輸入量は激増して1990年には629トンに達し、1991年には9月末までだけをとってみると770トンが輸入されている。国内養殖マダイ価格暴落の原因は全くこの日本産養殖マダイ輸入量の激増にあったのである。養殖ヒラメの急激な価格下落もその影響と考えられる。

元来韓国沿岸におけるマダイの資源は驚くほど豊富であった。1900年ごろに日本人は韓国の南海岸で縛網でマダイを獲っていたが、その初期には1網でマダイ3万尾を獲ったことが記録されている。このことは魚類養殖業の発達も重要ではあるが、それより重要なのは漁獲努力量を調節して海本来の生産力を回復することであることを示している。

以上、韓国の魚類養殖の展望は明るいというよりはむしろ暗い。日本でも過剰生産に対する対応策が十分に樹てられていないように思われる。両国は友好的な相互協力によって健全な魚類養殖業の発達を図るべきである。

## 参 考 文 献

- 1) 岩永重華: 最新韓国実業指針, 宝文館, 1904年。
- 2) 韓国農水産部: 農林水産統計年報, 1962年度以降各年。
- 3) 韓国水産庁: 水産業動向に関する年次報告, 1966年度以降各年。